

こどもプラス塩田 放課後等デイサービス自己評価表

2021年
令和3年 2月

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			状況に応じて公園などの外活動と事業所内の活動の2班に分かれて活動している。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			利用者から登所予定カレンダーを提出して頂いて利用人数によって適切になるよう配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			平屋の建物を借りて事業所として利用しているため段差はない。手すりの設置が必要になった場合は検討する。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			毎日2回の申し送りに職員が参画し、業務の改善点などの意見を交換して、改善に結びつけている。お子さんの目標設定を達成出来つつあるのかを日々振り返りを行い、全員で共有出来るように職員会でも行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			個別の要望に対応し、かつ改善の余地があるものは全体にも反映している。活動内容の専門的な狙いを保護者の方にも周知する冊子を作成、配布等も行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			事業所のホームページで公開し、公開を利用者にも周知している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	第三者の外部評価は今後検討する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		<input type="radio"/>		コロナ渦のため外部の研修の機会は減少している。資質向上のための所内研修に職員が参加している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			支援会議や必要に応じてのアセスメント、利用時の親御さんとの情報共有等を適切に行い客観的に課題を分析した上で放課後等デイサービス計画を作成している。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		簡易発達検査を行った上で柳澤運動プログラムを主体に放課後活動を行い補うべき感覚をみている。標準化されたアセスメントツールも増やすことを検討している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			活動プログラムはPDCAサイクルを取り入れ、職員全員でチームを組んだ状態で作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			子どもの好子を考えての季節に応じたイベント、工夫した活動プログラムをチームおよび個人でも作成している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			平日は時間内に可能なお子さんの課題を設定し、休日は平日に行えない活動を通じての課題設定、長期休みは季節に応じた課題の設定を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			子どもの状況に応じて今出来初めていることから子ども自身で取り組んでいける、かつ達成感を味わえるようにスモールステップで、集団での活動の計画と個別の活動の計画を組み合わせで作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			子ども自身の最近接領域や子ども同士の関係性なども含めて見極めながら、支援の内容や、分担分けを毎日の支援開始前の申し送りで行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			毎日の支援後の漫然な支援にならないよう申し送りでヒヤリハットの確認、子どもの発達段階の伸びているところの共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			正しく具体的かつ客観的に記録をとるように徹底し、支援の検証や改善を日々行えるようにしている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		お子さんの状況に応じて親御さんとのモニタリング、関係者との支援会議を適宜行い放課後等デイサービス計画の見直しが必要かどうかを判断している。機会が減少しないように
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		自律支援と日常生活のための活動、創作活動、余暇の提供などは行っている。地域交流の機会の提供が以前よりも増加できている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		毎回、児童発達支援管理責任者が参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校との連絡調整は必要な場合適切に行っている。学校との関係性を今後も良くしていくために取り組んでいきたい。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在の利用者の中に常時医療的ケアを要するお子さんが居ないため、そういった主治医と連絡体制は取っていないが、必要になった場合には対応いたします。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		就学前から利用していた機関と連携を取って関係者会議等を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	○		移行するお子さんの支援内容等、情報を提供した。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		障がい者支援センター、子育て支援課、障がい者支援課等と連携をとって助言や研修を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		偶然公園などで出会って一緒に活動する場合に加えて、隣にある学校の校庭等での活動が始まったため機会の創出が増えてきている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		コロナ禍で機会が減少しているが可能か限り積極的に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日常的には連絡帳や送迎時の申し送り、またモニタリング等でも行い、共通理解を持てるように伝え合っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者から希望がある場合、ペアレントトレーニングを行っている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始前に丁寧な説明を行い、かつ必要な場面で再度の説明も行っています。利用の長期化において今後は再度の説明の機会を増やしたい。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者から相談ごとがあれば、ささいなことでも対応するようにしている。不十分であるとチーム等で判断した場合は改善点として取り組んでいる。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		現実的に可能な感染症対策を行ったうえで、保護者同士の連携を図れる機会を年2回作った。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合には迅速かつ適切に対応しています。また、改善案を打ち出して保護者に周知しています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的に会誌を発行、ブログの公開や行事予定のプリントの発行でお知らせなどを行い、活動時の写真入りの連絡帳でも各家庭ごとにお知らせしている。加えて月1回の冊子の発行を行っている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報関係の書類は鍵付きのロッカーにしまわれている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			記録を残して、保護者側にも書面で渡しています。可能な限りふりがな表記も行っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	○		コロナがおさまった状態になれば事業所での地域に開かれたお祭りなどが開催できるかを検討していきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			年1回以上フローチャート図入りの各マニュアルを作成し、職員や保護者に周知しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回の避難訓練をお子さんの安全を配慮して行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			管理者兼児童発達支援管理責任者が研修を受け、職員会で伝達研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			切迫性があり、非代替性であり、一時的であれば身体拘束できると組織で決定しています。保護者から了承を得た上で同意書をいただき、放課後等デイサービス計画にも記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必要な場合は対応いたします。また疑わしい児童に対してもおやつ購入時に対象のアレルゲンが無いものを選んでいく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		